



2018年3月15日

京都鉄道博物館

京都鉄道博物館初展示

展望客車マイテ 49 形特別展示

京都鉄道博物館では、JR 西日本が保有している展望客車マイテ 49 形を館内で特別に展示します。京都鉄道博物館で収蔵している C62 形 1 号機を連結するとともに、往年の特急「はと」のヘッドマークを掲出し、かつての昭和の列車をイメージした展示となります。



マイテ 49 形 2 号機



C62 形 1 号機

展示期間 2018年3月30日(金)～4月2日(月)

展示場所 本館 1F「車両のしくみ／車両工場」エリア

車両展示 マイテ 49 形 2 号ならびに C62 形 1 号機



※マイテ 49 形 2 号

1938（昭和 13）年に東京～下関間の特急「富士」に使用するために製造された展望車（当時の形式はスイテ 37 形）。戦後は、特急「はと」「つばめ」の展望車として活躍しました。車両形式として、現存する唯一の車両で、SL やまぐち号の新型客車（1 号車）のモデルにもなっています。

※C62 形 1 号機

1948（昭和 23）年から 1949（昭和 24）年にかけて、D52 形のボイラーを活用し、49 両が製造された日本最大級の旅客用蒸気機関車。東海道本線や山陽本線の特急・急行をけん引しました。

※営業線を運転して搬入するため、輸送上の都合により展示の中止や展示車両を変更する場合があります。

予めご了承ください。